

平成 26 年度 五泉市道徳部 活動報告

部長 佐藤 将臣（五泉小）

1 研究主題

豊かな道徳性を育む授業を探る

2 研究の概要

研究主題をもとに、日常の授業づくりに生かすという観点から研究を行い、成果をまとめる。

3 研究の実際

(1) 構成的グループエンカウンター講習会（6月）

五泉市立愛宕中学校の吉澤克彦様を講師に迎え、構成的グループエンカウンター（以下、SGE）の講習会を開催した。

まず、SGE は道徳で扱われることがあるが、注意すべきは「SGE そのものが道徳ではない」という点をご指導いただいた。扱いたい道徳の価値や徳目があり、それに近づけるための道具の一つが SGE であり、その上で道徳の授業の中のどこに位置付けるかを考えるとよいとのことであった。授業へのとり入れ方としては、「①導入②読み物教材に代えて③展開後半で④終末で」という4つがある。同じエクササイズでも、付けたい力によって入れる場所も変わるので吟味して扱いたい。SGE には、「観念でなく体験を通して感じられる」などのよさがあるので、上手に取り入れることが大切と感じた。

(2) 事前検討会（9月）および授業研究（10月）授業者 高野 華子教諭（五泉小）

ア 主題名：「ともだちと なかよく」2 - (3) 友達と仲よくし、助け合う

イ 資料名：「およげない りすさん」 出典『わたしたちの道徳』

ウ ねらい：あひる・はくちょう・かめが「少しも楽しくない」理由を考えることを通して、友達の気持ちを思いやり、誰とでも助け合っていこうという心情を育てる。

エ 授業の概要

導入では、事前に記入したワークシートを使い、「友達がいてよかったな」と思った経験を振り返った。読み物資料は、挿絵を用いた紙芝居で提示し、さらに場面のキーワードとなる言葉を板書して状況理解の個人差を補った。資料は、りすをおいて島に行く第2場面で中断し、あひる・かめ・白鳥が「少しも楽しくない」と言った理由を考えさせた。「りすさんがいないから。」というりすの存在価値に着目した意見と、「遊具が少ない。」「公園で遊んでいる人が少ない。」等、物的条件に着目した意見に分類し、似た意見の友達と意見交流をした。終末では、導入のワークシートに戻り、互いの行動の中の「思いやり」に目を向けさせていった。

オ 協議会

協議会では、「どうして楽しくないか。」を考えさせる有効な手立てについて話し合った。友達との交流は、自分の意見を受け止めてもらういい機会になっていたが、今回のように似た意見同士ではなく、違う意見同士の方が効果的だったのではないかという意見が出された。また、心情的な言葉でまとめると意見の違いがとらえやすかったのではないかという意見も出された。

4 成果と課題

「特別の教科 道徳」（仮称）ではより実効的な授業づくりが求められている。今年度、授業公開だけでなく、事前検討会から部員全員が積極的に意見交換し、授業づくりについて考えることができたのは大きな成果であった。また、公開授業は高野教諭による立候補であったが、その道徳授業に対する前向きな熱意と目の前の子どもたちに対する愛情こそが、授業改善の根底にあるべきものであることを再認識することができた。